

令和2年度入学式 式辞

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご家族の皆様、ご来賓の方々のご臨席をご遠慮いただく形の入学式となりました。可能限り密閉・密集・密接を避けるため、時間短縮で式典の簡素化に努めました。今回は、入学生の皆さんを心からお祝いするために、歓迎と励ましの気持ちを校長の言葉で伝えました。話した内容を可能な限り忠実に再現し、ここに掲載いたします。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

今日は、本来であれば、皆さんのご家族をはじめご来賓の方々をお招きして共に喜びを分かち合い、お祝いする特別な日にしたかったのですが、このような形になってしまいました。

こんな過酷な期間を過ごした中学校3年生が未だかつていたでしょうか。受験勉強が山場を迎える頃にウィルスの感染拡大の騒動が起こり、そして2月28日の非常事態宣言、さらには厳戒態勢での入試本番、外出自粛期間中にドキドキしながら待った合格発表。ただでさえ不安な十五の春なのに、何から何まで異例づくめでした。

でも、今日は晴れの日です。前を向いて新たに歩き出す決意の日にしましょう。あなたは、厳しいなかよく頑張りました。入学早々、褒めてあげましょう。いきなり褒めるのも異例かもしれませんが。でも頑張ったんです。大変な思いをしてきたあなただから、きっとこれからも様々な困難を乗り越えていくことができるでしょう。

人間の知恵は無限の可能性を秘めています。一度困難を乗り越えた者は、次の困難も乗り越えていけるのです。人類の歴史がそれを証明しています。もちろん、人類には失敗もありました。しかし、失敗経験をも糧にして、先人の知恵を借りながら多くの財産を築いてきたのも事実です。

啓北商業はお蔭様で、今年で創立 80 年という節目の年を迎えました。

「お蔭様で」という表現の語源を聞いたことがありますか。仏教用語なのですが、神や仏が日常のなかで守ってくれたお陰で今の私がある、という感謝の言葉なんですね。照り付ける日差しから守るために影をつくってくれている。あるいは、草葉の陰で見守り応援しているご先祖様、お蔭様がいるという教えです。

この世に生きる私たちは、このことを現実に置き換えて解釈する必要があります。あなたは、親に守られ、先生や友達に励まされ、多くの方たちの見えな
い力や支えによって今この場にいます。これからも、仲間に支えられ、辛いとき
き苦しいときも、互いに励まし合うのです。

もっと大きな見方をすれば、人類が築き上げてきた遺産である知識、知恵、
技術、そして言語のお蔭で私たちは守られ、それに感謝し、さらに素晴らしい
ものを築き上げ、それを未来へ伝えていくのです。言語、ことばには力が宿っ
ています。あなたの話した言葉が心をつくり、心から出た言葉が未来をつくり
ます。未来をつくるのが、あなたに課された使命です。

今日から一緒に勉強していきましょう。

もう一度言います。あなたは、本当によく頑張った。

入学おめでとうございます

令和2年4月8日

市立札幌啓北商業高等学校

校 長 鈴木 恵一